

登録コード	HM218200	開講年度	2026				
授業題目	母子保健学特別研究					担当教員	中込 さと子
英文授業名	Research Thesis (Doctor's) in Child and Women's Health Science					副担当	
単位数	6	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	母子保健学ユニット1～3年次
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HM保健学分野初, 2026HM保健学分野初・医学系_3年制・保健学分野, 2025HM保健学分野初, 2025HM保健学分野初・医学系_3年制・保健学分野						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能を獲得する。
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					⇔	保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力を獲得する。
(2)詳細 /Detailed information	(授業の達成目標) 女性の健康、すなわち性(S)と生殖(R)、妊産婦(M)、新生児(N)・思春期(A)の健康課題(H)(以下、SRMNAH)に対する新たなケアモデルを構築するための研究を立案することができる。 SRMNAHのエビデンスレベルの高い研究方法及び成果を学修し、専門領域における個々の研究に転会できるようになる。 (詳細) SRMNAH領域の健康増進、疾病予防に焦点を定め、研究計画の立案、研究の推進、研究成果の発表に寄り、看護学のエビデンスの構築に貢献する。						
(3)授業の概要 /Overview of course	1.SRMNAH領域の健康課題に関する現状と課題を列举できるようになる。 2.SRMNAH領域の疾病のリスク要因、健康被害に関する実態と課題を探索し論ずることができる。 3.SRMNAH領域の疾病のリスク回復過程、予防方法に関する実態と課題を論ずることができる。 4.自らの課題に関する最新の基礎及び臨床研究の成果を探索し、整理することができる。 5.研究テーマ、仮説および対象を選定し、研究方法を立案できる。 6.得られた研究結果を分析し、追加すべき課題を検討できる。 7.考察と結論をまとめ、研究を総括することができる。 8.研究成果を学会及び論文により発表し、市民一般に公開することができる。						
(4)授業計画 /Course plan	日時は受講学生と検討の上決定する。研究の進捗により所要時間は異なるが、項目ごとに複数回の指導時間に加え、相当程度の事前事後の自主研究時間を要する。 1.文献情報を収集し、研究テーマに関する現状と課題を理解する。 2.研究テーマの領域で頻用されている研究方法を理解する。 3.研究テーマ、仮説、対象、データの種類を検討する。 4.研究計画を立案する。 5.倫理審査を受審し、承認を受ける。 6.研究を推進し、結果を評価して考察をまとめる。 7.論文執筆し、研究成果を発表する。 8.論文投稿する。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	博士論文の完成度とプレゼンテーション内容で評価します。(100%) 下記の評価項目の合計点に基づき、判定基準は90-100点(秀)、80-89点(優)、70-79点(良)、60-69(可)、60点未満(不可)とします。 ①研究領域で権威ある邦文・欧文雑誌に印刷公表または受理(珪砂許可)を得ている(30点) ②研究の目的・方法・結果及び考察について十分に理解し、明確に説明できている(30点) ③研究内容について提起される質問に対して、論理的に説明できている(20点) ④研究の将来展望について論述できている(10点) ⑤当該研究分野に関する最先端の知識を有している(10点)						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	個別に研究活動を展開し、教員とディスカッションの際に、次回の課題を提示します。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時相談に応じます。 中込研究室：保健学科棟中校舎3階 メール：snakagomi@shinshu-u.ac.jp						
(8)授業の形式 /Course format	個別指導を中心としますが、適宜、他の大学院生や教員、近接領域の学外の研究者と研究ミーティングを開催します。						